

#NAME?

都道府県名:

農業委員会名:

## 1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和5年7月20日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	19	19
認定農業者	—	3
認定農業者に準ずる者	—	6
女性	—	3
40代以下	—	0
中立委員	—	1

任期满了年月日 令和8年7月19日

	定数	実数
農地利用最適化推進委員	17	15

## 2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	1,702
農業経営体数	594

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	642
女性	276
40代以下	12

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経
認定農業者	
基本構想水準到達者	
認定新規就農者	
農業参入法人	
集落営農経営	
特定農業団体	
集落営農組織	

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	900	320				1,220

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

## II 最適化活動の目標

## 1 最適化活動の成果目標

## (1) 農地の集積

### ① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)
	1,220	ha	257	ha	21.1
課題	農業者の高齢化や担い手不足、有害鳥獣被害による営農意欲減退、近年頻発する よる影響に加え、燃料・肥料・資材価格高騰が追い打ちを掛け状況は深刻であると認				

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

### ② 目標

農地の集積の目標年度	令和22	年度	集積率	6
今年度の新規集積面積	31	ha	農地面積(C)	1
今年度末の集積面積(累計)(D)	288	ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	2

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度  
地集積率を記入

## (2) 遊休農地の解消

### ① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況			
	1号遊休農地面積		うち緑区分の遊休農地面積	
	0.8	ha	0.8	0.0
課題	農家の高齢化や有害鳥獣被害等により、遊休化する農地が増えている。			

### ② 目標

#### ア 既存遊休農地の解消

##### a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	0.4	ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.1	ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面

##### b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地		ha
黄区分の遊休農地の解消 のための工程表の策定方針		

#### イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積		ha
---------------------------	--	----

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和4年度新規参入者		令和5年度新規参入者		令和6年度新規参入者
	1	経営体	0	経営体	1
	0.1	ha	0	ha	0.7
課題	新規就農者を継続して確保することが課題である。				

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	15	ha	28	ha	5	ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積				1.6	ha	

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10	日／月	最適化活動を行う農業委員の人数	19
			農地利用最適化推進委員の人数	15

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数		2	回
取組時期	取組項目	強化月間の内容	
8月	農地の集積	地域計画策定に向けた強化月間として、市や京都府等と連携して、全地区での話し合いの農業委員、農地利用最適化推進委員が話し合いに参画する。	
12月	新規参入の促進	新規受け入れ強化月間として、京都府や農業会議と連携し、勉強会を開催する。また、農地利用最適化推進委員等による戸別訪問等の機会に、新規参入の希望者がいないか聞き取りを行う。	

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数		1	回
開催時期	令和7年11月	相談会名	新農業人

参加者数	800	開催場所	グランキューブ
相談会の内容	新・農業人フェアは「農業を知りたい」「働きたい」「かかわってみたい」という気持ちを対象とした、国内最大級の就農イベント。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入  
（参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする）

様式1

京都府

#NAME?

(全シート共通)  
黄色セル・・・入力必要箇所  
青色セル・・・関数入力済み箇所

担当区域数
15

営体数(経営体)
31
0
2
8
19
0
19

3)／(A)
%
高温障害等に 認識している。

0.0	%
,220	ha
3.6	%

における農

産休農地面積
ha

面積を記入

--

新規参入者	
	経営体
	ha

平均	
16	ha

盤強化促進法  
作の事業に供

人
人

の場を設定し、すべて
業委員、農地利用最

フェア
-----

ーブ大阪
もつ全ての方を



セル: M8

メモ: =====

ID#AAABiwIDF6I

北原 崇行(KITAHARA Takayuki) (2025-05-02 05:45:32)

目標設定を行う年度の4月1日現在の状況を記載

セル: V36

メモ: =====

ID#AAABiwXd-0c

北原 崇行(KITAHARA Takayuki) (2025-05-02 05:45:31)

畑の内訳（普通畑、樹園地、牧草畑）は、市町村において把握しているデータがある場合に記載して下さい。

セル: J46

メモ: =====

ID#AAABiwN7hkY

北原 崇行(KITAHARA Takayuki) (2025-05-02 05:45:31)

直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積とは、目標設定年度の前年度の統計データを指します。（令和7年度の目標設定においては、令和6年度の統計データから記載。）

セル: W46

メモ: =====

ID#AAABiwIDF5w

北原 崇行(KITAHARA Takayuki) (2025-05-02 05:45:32)

「これまでの集積面積」は、直近で把握できる集積面積を記入（「担い手及びその農地利用の実態に関する調査の実施について」（平成26年9月24日付け26経営第1650号農林水産省経営局長通知）に基づく市町村の集積面積と同値となるように記載して下さい。）

セル: C55

メモ: =====

ID#AAABivmSj5k

北原 崇行(KITAHARA Takayuki) (2025-05-02 05:45:31)

「新規集積面積（当該年中の集積面積（フロー）」とは、非担い手の農地を新たに担い手に権利設定した面積のことであり、既に担い手に権利設定されている農地の再設定は含みません。

セル: Z55

メモ: =====

ID#AAABiwIDF6Q

北原 崇行(KITAHARA Takayuki) (2025-05-02 05:45:32)

「農地面積(C)」は、基本的に「管内の農地面積(A)」を維持するように設定していただくべきですが、農地の潰廃・転用により農地面積が減少することが事前に把握されている場合は、それを踏まえた面積を記載してください。

セル: AD70

メモ: =====

ID#AAABiwIDF6M

北原 崇行(KITAHARA Takayuki) (2025-05-02 05:45:32)

令和3年度の利用状況調査で判明した緑区分の遊休農地面積から、課長通知1の(2)に基づき、「用排水及び接道の条件が悪い狭小地や傾斜地であるなど、農地として利用することが著しく困難であることが形状又は性質から明らかであり、かつ、今後、農地として利用する見込みがないもの」として除外した面積を差し引いた数値を記入する。記載例は、50-5=45ha

セル: C71

メモ: =====

ID#AAABiwN7hkg

北原 崇行(KITAHARA Takayuki) (2025-05-02 05:45:31)

前年度末時点において「令和3年度時点の緑区分の遊休農地（既存の緑区分の遊休農地）」の残存面積が5分の1未満になっている場合は、実態に応じた面積を目標として設定してください。

また、前年度末までに既存の緑区分の遊休農地を全て解消した場合は、目標面積はゼロとして、新規発生を防止することを目標としてください。

セル: C76

メモ: =====

ID#AAABiwIDF6Y

北原 崇行(KITAHARA Takayuki) (2025-05-02 05:45:32)

黄区分の遊休農地の解消のための工程表について、いつまでに、どのような考え方で策定するかを記載

セル: C83

メモ: =====

ID#AAABiwXd-0k

柳田 拓馬(YANAGITA Takuma) (2025-05-02 05:45:31)

可能な限り直近3カ年度の実績を入力してください。

（令和7年度目標の設定においては、令和4～6年度の実績を入力することが望ましい。）

セル: C90

メモ: =====

ID#AAABivmSj5g

北原 崇行(KITAHARA Takayuki) (2025-05-02 05:45:31)

可能な限り直近3カ年度の実績を入力してください。

（令和7年度目標の設定においては、令和4～6年度の実績を入力することが望ましい。）

「権利移動面積」は、農地中間管理機構に農地中間管理権が設定されたもの又は集落営農法人等に貸し付けられたものについて除外可能です。（課長通知の1の(3)）

なお、ここという「権利移動面積」は新規就農に係る権利移動面積ではなく、全ての権利移動面積です。

セル: AL99

メモ: =====

ID#AAABiwXd-0Q

北原 崇行(KITAHARA Takayuki) (2025-05-02 05:45:31)

「最適化活動を行う農業委員の人数」は、農業委員のうち、最適化活動を行う者の人数を記載

セル: C104

メモ: =====

ID#AAABiwIDF50

北原 崇行(KITAHARA Takayuki) (2025-05-02 05:45:32)

・強化月間として、農業委員会や推進委員等がどのような活動を行うのかを記載

・通常の月との違いや取組の概要を記載

（3月以上を設定することを目標として設定）

・当該設定回数は取組期間で判断するため、8～10月と設定する場合についても、3回とカウントしてください。

・また、活動強化月間の期間が重なった場合は、それぞれを1ヶ月とカウントすることはできません。（まとめて1か月とカウント）

セル: Q108

メモ: =====

ID#AAABiwXd-0M

北原 崇行(KITAHARA Takayuki) (2025-05-02 05:45:31)

農地法に基づき年1回行うこととなっている「利用状況調査」及びその調査結果を踏まえて実施する「利用意向調査」とは別に、農業委員会が独自に行う利用状況調査や、農地利用アンケートや戸別訪問によって遊休農地の所有者に限らない農家の経営意向等の調査を集中的に行う場合は、活動強化月間として設定できます。

セル: C120

メモ: =====

ID#AAABiwN7hkM

北原 崇行(KITAHARA Takayuki) (2025-05-02 05:45:31)

参加者数は、イベントの参加者数ではなく、参加する予定の委員数を記載

セル: C121

メモ: =====

ID#AAABiwN7hks

北原 崇行(KITAHARA Takayuki) (2025-05-02 05:45:31)

相談会等の開催要領等を参考に、イベントの内容を記載